

平成 31 年度

## 地球温暖化対策計画・実施状況報告

## 1 地球温暖化対策事業者の概要

## (1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
Ⅲ類	I類 A事業所のみを有する特定事業者
	II類 B事業所を有する特定事業者 (Ⅲ類の事業者を除く)
	Ⅲ類 C事業所を有する特定事業者
	IV類 任意事業者

## (2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	パイオニア株式会社	
所在地	東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート	
事業者番号	0171	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	2,770	kL/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500KL未満で延床面積 10,000m <sup>2</sup> 以上の事業所)		m <sup>2</sup>
産業分類名 (中分類)	電気機械器具製造業	
分類番号 (中分類)	29	
事業活動の概要  (事業内容、従業員数、 資本金等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーオーディオ、カーナビゲーションの開発/設計/生産</li> <li>・BDドライブの開発/設計/生産</li> <li>・有機EL照明、医療・健康機器関連、サイクル関連機器開発/設計/生産</li> <li>・従業員数：15,104名(連結ベース、2019年3月末)</li> <li>・資本金：1313億8148万円(2019年6月末)</li> </ul>	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

(自動転記)

事業所種別	事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
A、Bテナント等事業所			
A	017100	パイオニア(株)品質保証センター	410
B、C事業所			
C	017101	パイオニア株式会社 川越事業所	2,360
合計			2,770

(4) 公表方法

<input type="radio"/>	インターネット利用による公表	アドレス	<a href="http://pioneer.jp">http://pioneer.jp</a>
<input type="checkbox"/>	事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所1	
		所在地1	
		閲覧可能時間1	
		閲覧場所2	
		所在地2	
		閲覧可能時間2	
<input type="checkbox"/>	その他		

(5) 公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1 業務推進部 総務管財課	049-228-6006	049-228-6173	
2			
3			

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

## 2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

### 【パイオニア環境方針】

1. 地球温暖化防止
2. 省資源と資源循環
3. 化学物質の管理
4. 生物多様性の保全
5. 法規制の遵守
6. 情報開示とコミュニケーション
7. 環境教育
8. 社会貢献

※各項目の詳細は『<http://pioneer.jp>』を確認願います。

## 3 地球温暖化対策における事業者の推進体制

添付の組織図で推進しています。  
地球温暖化対策推進者は「右記図」の環境管理責任者が兼務しています。

## 4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量(事業所合算)の推移

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

	27年度 (2015年度)	28年度 (2016年度)	29年度 (2017年度)	30年度 (2018年度)	31年度 (2019年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	5,062	5,427	5,390	5,438	
その他ガス					
温室効果ガスの合計	5,062	5,427	5,390	5,438	

## 5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

平成	31	年度	事業者番号	0171	事業所番号	017100
----	----	----	-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
-------	------------------------------------

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	パイオニア(株)品質保証センター	前年度における事業所数	1
代表事業所所在地	市区町村	埼玉県川越市	
	字・地番	大字寺山147	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	電気機械器具製造業		
分類番号(中分類)	29		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	<ul style="list-style-type: none"> <li>パイオニアカーオーディオ及びカーナビゲーションの信頼性試験など</li> <li>従業員数53名</li> </ul>	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	27	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	【第2計画期間】 平成26年度の電力使用量1,853千kwhを基準として、その換算値917t-CO <sub>2</sub> を基準値として、削減計画期間の平均削減率を2.5%とします。			
	その他ガス				

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		年度	～		年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)				
	その他ガス				

## 事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	パイオニア(株)品質保証センター	埼玉県川越市大字寺山147
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

日本工業規格A列4番

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	420	457	452	410	

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源 CO <sub>2</sub>		826	899	888	811	
その他 ガス	非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		826	899	888	811	

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位				15.5849	16.9623	16.7547	15.3019	
活動規模の指標	○	従業員数	人	53	53	53	53	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所

No	対策の区分		対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	・空調のデマンド管理 <第2計画期間も継続>	H26以前	
2	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	・照明のインバーター化	H26以前	
3	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	・LED照明の一部導入	H27年度	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

平成 31 年度

事業者番号	0171	事業所番号	017101
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	パイオニア株式会社 川越事業所		
事業所所在地	市区町村	川越市	
	字・地番	大字山田25番地1	
産業分類名(中分類)	電気機械器具製造業		
分類番号(中分類)	29		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーオーディオ、カーナビゲーションの開発/設計/生産</li> <li>・従業員数:3649名(平成31年3月末)</li> </ul>	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	27	年度	～	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	【第2計画期間】 基準排出量を5140t-CO <sub>2</sub> として削減計画期間の平均削減率を13%とします。			
	その他ガス				
エネルギー起源CO <sub>2</sub> の削減目標の概要	排出可能上限量 (計画期間合計)	22,359	t-CO <sub>2</sub>	/	
	削減目標量 (計画期間合計)	3,341	t-CO <sub>2</sub>		

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間		年度	～		年度
削減目標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)				
	その他ガス				



### 3-1 事業所の温室効果ガス排出量

#### (1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	2,161	2,309	2,296	2,360	

#### (2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>		4,236	4,528	4,502	4,627	
その他 ガス	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		4,236	4,528	4,502	4,627	

#### (3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位				1.2218	1.2453	1.2341	1.2680	
活動規模の指標	○	従業員数	人	3,467	3,636	3,648	3,649	

日本工業規格A列4番

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	5,140	t-CO <sub>2</sub> /年
基準排出量検証	基準年度検証実施済	

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更量	
変更年度		変更量	
変更年度		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第2区分
----------	------

(4) 削減計画期間

27	年度から	31	年度まで
----	------	----	------

(5) 年度ごとの状況

		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	削減期間 合計	
基準 排 出 量 等	基準排出量(A)	5,140	5,140	5,140	5,140	5,140	25,700	
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%		
	排出上限量 (C = ΣA-D)							22,359
	排出削減目標量 (D = Σ(A×B))							3,341
実績	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量(E)	4,236	4,528	4,502	4,627		17,893	
	排出削減量 (F = A - E)	904	612	638	513		2,667	
特例	高効率設備の 算定量(※)							

※ 算定を希望する場合のみ記入する。別途、算定資料(任意様式)を添付すること。

(6) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

・生産稼働率が29年度と比較して9%増産している為、電気使用量の増加が原因と考える。

・外気温の平均温度が29年度は平均15.3℃に対して30年度は+1℃の平均16.3℃  
最高気温の平均は29年度20.2℃に対し30年度は21.3℃に上昇している  
上記内容から空調負荷率上昇により電力使用量の増加が原因と考えられる。

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分			対策概要	実施年度	推計削減量(t) (一年度当たり)
	区分番号	区分名称				
		大区分	中区分			
1	390700	昇降機	39_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	エレベーター更新	H26以前	
2	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調設備の更新(2号館4階)	H26以前	
3	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調設備の更新(2号館3階)	H27年度	
4	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調設備の更新(1号館1階1/2)	H28年度	
5	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調設備の更新(1号館1階2/2)	H29年度	
6	380700	照明設備	38_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	LED照明の一部導入	H30年度	
7	330200	空調設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	空調設備の更新(1号館3階)	H31年度	
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。 日本工業規格A列4番

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

1.ISO14001の取得

・当事業所では、1999年にISO14001を取得し、地球温暖化対策や廃棄物の削減などに取り組んでいる。2018年にISO14001 2015年度版取得。

2.自然エネルギーの利用拡大

・2009年度より太陽光発電システム(30kwh)を導入した。

3.森林整備事業

・2005年より埼玉県鎌北湖近くの森林2.4haについて、『パイオニアの森』として森林整備を行っている。